

## はじめに

生涯を通じて健康でいきいきと暮らすことは、すべての人々の願いです。

城陽市では、国が示した「健康日本21」の考え方を基本に、平成15年3月に第1次健康づくり計画（健康じょうよう21）を策定し、市民の皆さんと一緒に生活習慣病予防を中心とした健康づくり活動を展開してまいりました。



しかし、高齢化の急速な進行や生活習慣病の増加を背景として、医療や介護の必要な人の増加が深刻な社会問題となってきました。このような中で、平成25年度に策定された国の「健康日本21（第2次）」においては、引き続き生活習慣病予防への取り組みを継続するとともに、合併症の予防や症状の進行などによる重症化予防にも取り組む方向性が示されました。また、京都府においても国と同様の方向性が示されました。

そこで城陽市では、今回示された国や京都府の方向性、また昨年度行った健康づくり計画（健康じょうよう21）の最終評価、さらには新たな健康課題などを踏まえ、第2次健康づくり計画（健康じょうよう21）を新たに策定しました。

健康づくりは市民が主体であり、市民自ら健康づくりを実践していく必要があります。市としては、市民一人ひとりの健康づくり活動を支援するとともに、『市民との対話でつくるまちづくり』の一環として、対話を十分に取り入れた連携・協働により、健康づくり活動を展開してまいります。

本計画の策定にあたり、城陽市健康づくり推進協議会の委員をはじめ、ご意見、ご協力をいただいた市民の皆さんに心より感謝いたします。

平成26年（2014年）3月

城陽市長 奥田 敏晴

